

【管理運営状況公表様式】

令和7年度 青森県聴覚障がい者情報センターの管理運営状況

県所管課	健康医療福祉部障がい福祉課
指定管理者	一般社団法人 青森県ろうあ協会 会長 小沢 千枝子
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
手話通訳者、要約筆記者等の養成を行う業務	国のカリキュラムに沿って、手話通訳者、要約筆記者等を養成するための講習会を開催した。
聴覚障害者に対する各種の相談、指導訓練、情報提供等を行う業務	聴覚障害者の生活・職業等各種相談を行うほか、手話講習会等の指導訓練、情報機器の貸出し・施設の開放により情報提供を行った。
施設及び設備等の維持管理に関する業務	法令等に則り、日々又は定期的に清掃及び各種設備の保守管理を行い、適切に施設及び設備等の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比	
利用人数 (人)	R 4	3,300	3,766	(指定前の実績)		
	R 5	4,400	4,513			
	R 6	5,500	5,226			
	R 7	5,500	6,329	115.1%	121.1%	
手話通訳者養成講座の修了者数 (人)	R 4	通訳Ⅰ 8	通訳Ⅰ 9	(指定前の実績)		
		通訳Ⅱ 6	通訳Ⅱ 8			
		通訳Ⅲ 4	通訳Ⅲ 3			
	R 5	通訳Ⅰ 10	通訳Ⅰ 0			
R 6	通訳Ⅱ 8	通訳Ⅱ 3	64.3%		60.0%	
	通訳Ⅲ 6	通訳Ⅲ 4				
	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 15				
R 7	通訳Ⅱ 12	通訳Ⅱ 5	200.0%		266.7%	
	通訳Ⅲ 7	通訳Ⅲ 1				
要約筆記者養成講座の修了者数 (人)	R 4	基本課程 14 (通訳Ⅰ)	基本課程 9 (通訳Ⅰ)	(指定前の実績)		
		応用課程 8 (通訳Ⅱ・Ⅲ)	応用課程 16 (通訳Ⅱ・Ⅲ)			
		8	3			
	R 5	10	1			
R 6	14	8	7.1%		12.5%	
	R 7	14				

【増減理由】

○利用人数

- ・目標数値 5,500 名に対し、6,329 名（前年度 5,226 名）と目標を達成した。
- ・関係機関、団体等に施設パンフレット及び講座案内等を送付するなど周知に努めた他、コロナ禍で減少していた講座の受講者数が回復してきたことにより利用者増となった。

○手話通訳者養成講座修了者数

- ・受講者に一定の技術や知識が求められることから、受講者の選考試験及び修了試験を行っているが、個別事情によりカリキュラムをこなせず修了できない受講者もあり、通訳Ⅰは目標を達成しなかったが、通訳Ⅱ・Ⅲは目標を達成した。

○要約筆記者養成講座修了者数

- ・受講者に一定の技術や知識が求められることから、受講者の選考試験及び修了試験を行っているが、個別事情によりカリキュラムをこなせず修了できない受講者もあり、目標人数 14 名に対し、講座Ⅰは 8 名、講座Ⅱは 1 名と目標を達成しなかった

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	利用者アンケート調査を適切に実施し、対策を講じる等、利用者の視点に立ったサービスの維持・向上に向けた取組が行われている。手話の啓発や聴覚障がい者等への相談等にも取り組んでいる。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	市町村や関係機関に対し講座案内等を配布するとともに、ホームページも随時更新する等、施設のPRや講座の周知広報に積極的に取り組んだ。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	施設設備の保守点検を計画通り実施し、施設の安全利用に配慮している。 設備等の経年劣化が進んでいることから、職員による点検や清掃を定期的に行い、異常や故障等の早期対処と施設設備の維持管理に努めている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	4	職員等による消防訓練のほか、緊急時に聴覚障害者が迅速に意思疎通を図ることができるよう施設内に筆談ボードを配置する等、日頃より緊急時の対応・安全管理に配慮している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	4	4	経理状況等に問題はなく、適正に執行している。 長期契約により経費節減をしている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	成果目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の流行期間に講座の受講機会が減少した影響もあるため、やむを得ないと判断される。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	基本協定書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、適正に取り組んでいる。
総合評価	4	4	施設整備、各種事業の展開及び経理状況において計画的に運営されており特に問題点はなく、施設利用者からのアンケートにおいても概ね高評価を受けている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。